

# 学生と地域社会の未来つくる大学に

## 年頭の抱負

石巻専修大学長 阿部 知顕



1989(平成元)年4月1日に石巻の地に建学された本学は、おかげさまでこの4月に創立38年目を迎えます。ひとえに皆さまのご支援の賜物でありますこと、心より感謝申し上げます。

本学は2025年4月より、第2次

### 七つの行動目標

- ① 学生支援の強化による学生活動実績の向上  
(活気あるキャンパスづくり)
- ② 地域連携による社会実装と地域教育の強化
- ③ 社会実践教育の全学的な拡充
- ④ 収容定員充足に向けた教学改革と入試改革の一体的な推進
- ⑤ 少子化を乗り切る魅力ある教育組織の新編
- ⑥ 教職協働の実現に基づく大学改革の推進
- ⑦ 財務の健全化に向けた対応

中長期ビジョン(25~29年度)に取り組んでおります。このビジョンは、第1次中長期ビジョン(20~24年度)から得られた成果と反省を基に、特に地方都市において激変する教育環境に適応しつつ、質の高い教育・研究を提供できる高等教育機関としての役割を確立すべく、将来を見据えた大学運営全般に関わる計画です。

本ビジョンは、左記の七つの行動目標の達成を目指しています。

現在、この組織目標に従う年次進行のロードマップ・行動項目に沿って、達成状況を評価しながら、内部質保証の活動(PDCAサイクル)を進めています。

わが国では、少子化の影響や若年層の人口流出が多くの方々都市で加速している現状を踏まえ、高

等教育全体の適正な規模を見据えた教育政策の展開が求められています。そのような環境下で、石巻圏域唯一の高等教育機関として永続的に存続するには、本学は真に市民の皆様に必要とされる大学でなければなりません。

### 【大学ブランドスローガン】

#### 「地域に根差して 世界に尖った大学」

～地域とともに学生と地域社会の未来をつくり、社会から真に必要とされる大学を目指す～

そこで本ビジョンでは、ここまで本学が掲げてきた大学ブランドスローガン「地域に根差して世界に尖った大学」を継承しつつ、「学生を基本に据えた大学づくり」と「社会から真に評価される大学

への転換」を両輪に、地域とともに未来をつくる大学としてのサブスローガンを掲げています。

本学は、小規模ながらも多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動を重視しつつ、「社会知性の開発」を基盤として地域課題の解決に向けた教育研究活動を推し進めます。

学生の皆さんのが地域社会の諸課題に積極的に取り組み、

“ISHINOMAKI is CAMPUS”を体現する実践教育を展開してまいります。

本年も皆さまのご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

● [石巻専修大学]ホームページ

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

# 石巻専修大学

石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)

最新の  
情報は  
大学HPで。

経営・二橋ゼミ  
みやぎふるさとCM大賞に参加

## 4年次生に聞く

卒業を控えた4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。



志賀 柚月さん

理工学部機械工学科

昔から筆記具、なかでもパイロットの製品が好きで、中学生の頃には「将来はパイロットコボレーションに就職する」と心に決め、その目標を家族や友

## 手書き文化を後世に

高橋智准教授の3D設計・解説  
大学ではCADの学修に注力。普段の授業に加えて、資格を学ぶ機械工学科に進学しました。大學生だ技術を生かし、3Dプリンターカーを使って車の模型や小物ケースを作成するなど、ものづくりの楽しさを深く知ることができます。

卒業後は、筆記具を通じて、手書き文化を後世につなげることに貢献したいと思います。(宮城県氣仙沼高、内定先) 株式会社パイロットコーポレーション

### ボランティアサークル歩

## 稻井地域の祭りに参加



伝統の餅つき祝い太鼓を披露

ボランティアサークル歩行が、11月23日に行われた石巻市稻井地区の伝統的な祭り「稻井農祭」に参加し、地域住民との親睦を深めました。

ボランティアサークル歩行は地域密着型の活動を目的に2025年に発足。今回は運営5年目に加え、若者の担い手が不足している「餅つき祝い太鼓」のメンバーと一緒に加わり、地域の方と一緒に威勢のいいパフォーマンスを披露しました。

小牛田農林高)と佐々木真斗さん(2年次・岩手県宮古商工高)が、作品が石巻市と協働し、「第24回みやぎふるさとCM大賞」(khb東日本放送主催)の応募作品を作りました。佐々木隼弥さんは活動を振り返り、「石巻の風景や文化と向き合う機会になった。地域への愛着が一段と深まり、メンバーバーとの結束も強まつた」と話した。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

経営学部情報マネジメント学科の三橋勇太ゼミ真斗さん(2年次・岩手県宮古商工高)が、作品が石巻市と協働し、「第24回みやぎふるさとCM大賞」(khb東日本放送主催)の応募作品を作りました。佐々木隼弥さんは活動を振り返り、「石巻の風景や文化と向き合う機会になった。地域への愛着が一段と深まり、メンバーバーとの結束も強まつた」と話した。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

経営学部情報マネジメント学科の三橋勇太ゼミ真斗さん(2年次・岩手県宮古商工高)が、作品が石巻市と協働し、「第24回みやぎふるさとCM大賞」(khb東日本放送主催)の応募作品を作りました。佐々木隼弥さんは活動を振り返り、「石巻の風景や文化と向き合う機会になった。地域への愛着が一段と深まり、メンバーバーとの結束も強まつた」と話した。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

二橋ゼミは、観光をテーマに心理学や情報科学など多角的な視点から研究を行っており、ドローン映像を活用した地域振興にも取り組んでいる。審査の結果、入賞こそ逃げたものの、ゼミ生にとって今回の活動は、普段の学びを実践する貴重な経験になったようだ。

## 出願受付中

★詳細はホームページで必ずご確認ください。

### 【一般選抜B日程】

試験日 2/26木

出願期間 2/2月~19木 ※消印有効

### 【一般選抜C日程】

試験日 3/12木

出願期間 2/19木~3/4水 ※消印有効

### 【大学入学共通テスト利用選抜B日程】

出願期間 2/2月~11水 ※消印有効